



# すみれぐみだより

2025年 3月 第6号

春が近づき、すみれぐみで過ごすのも残り1か月。この1年間、子どもたちは色々なことにチャレンジし、心も身体もたくましく成長しました。「もうすぐゆりさんになるね!」と、友だちとの会話を弾ませ進級を心待ちにしている子ども達。来年度へ向けてみんなで少しずつ準備をしながら、残りの日々も思い切り楽しみたいと思います。

## すみれぐみの思い出



外遊び



梅ジュース作り



海洋センター



夏祭り



ポティペインティング



消防署見学



もちつき会



かるた会



まめまき会



## 諦めない気持ち!



外で体を動かす事が好きな子ども達。なわとびや跳び箱、鉄棒の練習を頑張ってきました。

なわとびは「いっぱい跳ぶ!」と最初はやる気満々でしたが、実際に跳んでみると縄を回すタイミングと跳ぶタイミングが同時になってしまい、上手く跳ぶことができずに苦戦!それでも諦めずに「回して跳んで」を合言葉に練習していくと、1回、2回、3回...と少しずつ跳べる回数も増えていきました。友だちが跳んでいる姿に「負けないぞ!」と自分から練習をしたり、保育士に数えてもらいながら回数を増やしています。

跳び箱は、4段からのスタート。最初は跳び箱を目の前にすると怖くなってしまいう子や、跳ぶ前から「出来ない」と諦めてしまう子の姿も多くなりましたが、練習を重ねていくと合わなかった踏切のタイミングが分かるようになり、恐怖心もいつの間にか無くなり毎日少しずつ上達していきました。4段が跳べるようになると5段、6段に挑戦!友だちが跳んでいる姿を見て、「すごい!」とやる気に繋がり、今では6段を跳べる子も増えていきます。

鉄棒も最初は「怖いから...」「できないから」と中々気が進まない子ども達。回る事が怖い子は鉄棒にぶら下がったり、鉄棒に慣れることから始めていきました。保育士が支えてくれるという安心感もあり、少しずつ恐怖心が無くなっていったようです。そのうち自分の腕の力で体を鉄棒に寄せる事が出来るようになり、保育士のちょっとした補助で逆上がりが出来るようになったり、1人で逆上がり出来るようになる子も増えてきました。

最初は出来ないからと諦めてしまっていた子ども達も、練習を重ねる事で出来るようになることを知り自信がついたようです。又、「出来るようになりたい」と何事にも向上心が高まってきたように感じます。小さな目標を立てて取り組み、その目標が達成できるとまた次の目標を立てて頑張る!そんな子ども達の姿にとっても成長を感じています。出来ない事を諦めずに頑張る事は決して簡単な事ではありませんが、これからも諦めない気持ちで色々な事に挑戦して欲しいと思います。

1年間、保護者の皆さまにはたくさんのご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。子ども達がこれからも笑顔で過ごせるよう、引き続き支えていきたいと思っています。